

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
黒石市	黒石市	H22～26年度	H22～26年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1)	目標 (割合※1)	実績 (割合※1)	実績B /目標A
	(平成 年度)	(平成 年度) A	(平成 年度) B	
排出量	事業系 総排出量	t ( %)	t ( %)	%
	1事業所当たりの排出量	t ( %)	t ( %)	%
	家庭系 総排出量	t ( %)	t ( %)	%
	1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	t ( %)	t ( %)	t ( %)
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
減量化量	中間処理による減量化量	t ( %)	t ( %)	%
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成27年度) A	実 績 (平成27年度) B	実績B /目標A	
総人口	37,423人	40,841人	34,766人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	18,268人	28,859人	19,329人	67.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.8%	70.7%	55.6%	78.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	173人	279人	113人	40.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.5%	0.5%	0.3%	60.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,731人	7,530人	3,658人	48.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.3%	6.4%	10.5%	164.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	16,251人	4,173人	11,666人	279.6%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用時の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	黒石市	生活排水による公衆衛生の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及を図る。 (計画:100基)	H22～26年度	設置基数 目標:100基、実績:41基 処理人口 目標:7,530人、実績:3,658人 普及率 目標:6.4%、実績:10.5%
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

### 3 目標の達成状況に関する評価

平成22年度～26年度の事業の結果、設置基数については、目標の100基に対し実績は41基となり、目標を達成することができなかった(達成率41%)。汚水処理人口普及率は目標が6.4%であるのに対し実績が10.5%であった(達成率164.1%)。処理人口は目標が7,530人であるのに対し実績が3,658人と目標を下回った(達成率48.6%)。

設置基数、処理人口については目標を大幅に下回ったものの、汚水処理人口普及率については目標を達成することができ、未普及人口の解消について一定の進捗があったと考える。

設置基数、処理人口の未達の要因としては、景気の低迷や人口減少のほか市民の高齢化により住宅の改造意欲が低下しているものと考えられる。加えて計画の目標設定が過大であったため、目標と実績にかい離が生じた。

今後は、環境保全に関する意識啓発を強化し、制度の周知方法を工夫し、個人だけではなく施工業者への情報提供も行っていく。また、市全体の汚水処理施設整備計画を効率的に推進するため、引き続き浄化槽設置整備事業を進めるとともに、公共下水道事業の見直しを含め適正な汚水処理施設整備に取り組んでいく。

#### (都道府県知事の所見)

設置基数、処理人口は目標値を下回ったものの、汚水処理人口普及率は164.1%の達成率となり、概ね目標を達成でき、未処理人口の解消について着実な進捗があったと評価できる。

目標未達成の要因、今後の課題等を踏まえ、引き続き浄化槽設置整備事業を計画的・効率的に実施し、浄化槽の普及を着実に進めるとともに、生活環境の保全に係る啓発等の取組を進め、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことが重要と考える。